

第50巻 第2号 予告

特集：食品衛生管理とHACCP（仮題）

HACCPシステムの動向（仮題）.....	山崎 省二
食品衛生管理とHACCP事例（仮題）.....	藤原真一郎
FSOとリスクアナリシス（仮題）.....	温泉川肇彦
食品保健行政とHACCP（仮題）.....	松岡 隆介
食品衛生監視員の教育研修（仮題）.....	佐藤 吾郎

編集後記

最近、少年の「切れる」事件が多発しているが、今度は大阪で、小学校の児童が殺傷される事件が起きた。8名の児童の幼い命が奪われた。犯人は37歳で少年のカテゴリーではないがなにか事件の背後に類似した要因が見え隠れする。最新医学はゲノムばやりで、なんでも遺伝子のせいにしたがる風潮であるが、実は生まれてからの生活環境要因が無視できないように思われる。ここに、公衆衛生学的アプローチの真価が問われているといっても言い過ぎではないだろう。

本号の特集は「21世紀の公衆衛生—現場から—」である。これらの特集記事は、これからの公衆衛生のありかた、その方向性を模索している。

(2001年6月12日 記す)

丹後俊郎（編集委員長）

第48回日本小児保健学会のお知らせ

会期：2001年11月16日（金）－11月18日（日）

会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）

主題：21世紀はこどもの世紀 —こどもたちに何をなすべきか—

プログラム内容：

1. 会頭講演「乳幼児健診のあり方（仮題）」 青木継稔
2. 特別講演
 - ① 21世紀のこどもの心の健康を育むためにどうするか（仮題） 河合隼雄
 - ② すこやか親子21 平山宗宏
 - ③ 21世紀はこどもの世紀 —21世紀の小児保健を考える 前川喜平
3. 招待講演
 - ① Child Health in Taiwan in the 21th Century Hung-chi Lue, MD, Ph.D
 - ② ケントからみた日本の子育て（仮題） ケント・デリカット
4. シンポジウム
 - ① 小児の虐待は予防できるか
 - ② 青少年の犯罪と育児は関連するか
 - ③ 21世紀の乳幼児健診はどのようにあるべきか
 - ④ 予防接種はどのようにになるのか、どのようにしなければならないのか
 - ⑤ 乳幼児の心の健康について誰が、どこで、どのように指導するか
5. その他、教育講演9題、ランチョンセミナー4題を予定

学会事務局：東邦大学医学部第2小児科学教室（鈴木五男）

〒153-8515 東京都目黒区大崎2-17-6

TEL 03-3468-1251 FAX 03-3468-2927

<http://www.med.toho-u.ac.jp/ped2>